

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 なかよし園			
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日		～	令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和6年10月15日		～	令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月7日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年齢や発達段階に応じて活動内容を工夫している。	・活動内容がマンネリ化しないように、職員全員で意見を出し合っている。 ・個々のニーズに応じて、微細運動や粗大運動などの他にも就学に向けた活動も取り入れている。	・日々の活動内容について反省会を行い、更に療育の質を高められるように努力していく。
2	・親子通園の為、お子さんの様子を保護者の方と常に情報共有をしている。	・お子さんの家庭や幼稚園・保育園などでの様子を詳しく聞いて、今できることを保護者の方と一緒に考えている。	・幼少期の関わり方が重要なことを伝えながら、保護者の気持ちに寄り添っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門的支援の定期化	・言語聴覚士や作業療法士など、専門的な資格を有する職員体制が整っていない。	・外部による専門的支援を定期的に受けられるように検討していく。
2	・送迎のサービスを実施していない。	・送迎を行うための人員配置や車両の手配が整っていない。	・送迎のサービスは実施せず、親子通園の強みを活かしていきたい。
3			